

スタート!

小中一貫教育 多久の義務教育9か年の新たな挑戦

連載 No. 3

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227



小中一貫校の特性を活かして

ここが変わる小中一貫教育

小中一貫教育の重点は、義務教育9年間を3段階の区割(前期・基礎期4年間、中期・充実期3年間、後期・発展期2年間)に見直したことです。特に、中期・充実期の段階では、小中学校の教員が相互に乗り入れながら重点的に指導体制を強化します。

各一貫校では、社会、算数・数学、理科、音楽、図工、外国語活動、特別支援教育等について、小中教員のTT(小中学校教員と中学校教員が2人体制で指導・支援)による授業を工夫・実践します。

成果を上げる授業を目指します。また、異学年を組み合わせた行事としては、体育大会、論語カルタ大会、学習発表会、文化発表会、地域での体験・ボランティア活動、トイレ掃除活動等を計画しています。

一貫校開始から、『中学生が常に小学生に見られている状況の中で、笑顔が増えた、よくお世話をするようになった』との成果が現れており、中学生は小学生の手本となる態度、小学生は中学生への感心・あこがれ等、これまでにない変化が小中一貫教育の中で広がっています。



▲論語カルタ大会

多久市のすべての子どもたちに
身につけさせたい力

学校・家庭・地域がしっかりと連携しながら多久の子どもたちを育てていきます。

- 元気な声で「挨拶：あいさつ」ができる子
- 進んで体を動かし「掃除：そうじ」をする子
- 自分の「命：いのち」を大切にする子
- 進んで「自学：じがく」に取り組む子
- 自分の思いを「言葉：ことば」で伝え合う子

多久市教育の日

教育を考え、実践する日として「多久市教育の日」を定め、研究発表会や、授業参観等の学校公開を行っています。

今年度は11月10日(日)に学校公開を行い、保護者のみなさんにも、新築・増築した校舎、授業の様子(電子黒板等のICT活用教育)、子どもたちの様子など参観していただく計画です。

▶授業参観の様子

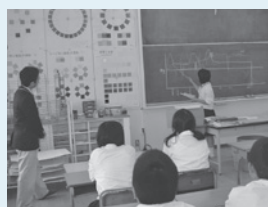


5/18

第1回 生と死を考える授業

児童・生徒に命の大切さを伝え、思いやりの気持ちを育もうと平成15年から東部中学校で「佐賀のホスピスを考える会(代表 宮本裕一)」とともに「生と死を考える授業」に取り組んでいます。

第1回の授業(中学部)では、各学年に分かれ、7年生では骨肉腫という病に冒された猿渡瞳さんを題材にした『腫スーパードラックス』を使った授業を、8年生・9年生はグループワーク形式での授業を実施。8年生は職業や年齢が異なる6人から救命ボートに乗せる4人を選ぶグループワークを通じて命の重みに軽重はないことを学びました。



▶誕生から死までをグループワーク(9年生)

6月の定例教育委員会

時間 9時

は6日(木)

場所 市役所 第2委員会室

(自由に傍聴できます)

■問い合わせ

教育委員会 教育総務課

☎75-3450

借金問題

過払い請求

広告

- サラ金からの借金を完済された方、時効前(10年)であれば、過払い請求が可能です。
- 過払いの請求の場合、着手金不要(解決後、報酬金のみ)裁判までします。(印紙代等の実費は負担)

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~12:00 日曜・祝日休

高崎繁行法律事務所

弁護士 高崎繁行(佐賀県弁護士会所属)

唐津市千代田町2109-17 くりはらビル1F

TEL 0955-70-0315



「多久市青少年育成市民大会」&「多久市少年の主張発表会」

青少年の健全育成を考える「多久市青少年育成市民大会」(多久市青少年育成市民会議主催)と、「多久市少年の主張発表会」(多久ライオンズクラブ主催)を開催します。

■日時 6月22日(土) 9時~12時

■場所 中央公民館

■問い合わせ 生涯学習課(中央公民館内) ☎74-3241